

■ 摂津市都市計画マスタープラン素案 パブリックコメント意見

○意見概要	○意見に対する考え方・対応
<p>①市全体としての概念的な方針だけを示すのではなく、この地域・地区をこのような地域・地区にしていこうという市の意思を示し、協力を呼びかけていくことが重要ではないか。</p> <p>今年度は全体構想をしっかりとまとめられ、地域別構想を段階的かつ早めに作成していくことを検討いただければ幸い。</p> <p>阪急京都線連続立体交差事業は、住民説明会も行っているのであれば、事業に関連した都市空間や機能のイメージを現段階で公表していくべきではないか。</p>	<p>社会の変化に柔軟に対応するため、状況に応じて様々な手法を用いて探ることがこれからのまちづくりに重要であります。</p> <p>P3の都市計画マスタープランの特徴にあるように、今回の都市マスでは、地域別構想に変えて、まちづくりを進めて行くための「まちづくりの手引き」や「協働のまちづくりの推進」を示しています。</p> <p>本都市計画マスタープランの方針に基づいて、各地域や地区の市民や事業者、行政などが主体となって、協働のまちづくりを進めていくことで、詳細なビジョンや計画は別途定められるものと考えています。</p>
<p>②祭り・行事やその場となる神社や集落空間をはじめとした地域のアイデンティティとなり得る歴史文化遺産を大切に保存・継承し、まちづくりに活かしていく視点を都市マスにも加えられると良いと思う。</p>	<p>地域の歴史的な資源をまちづくりに活かすことは大切な視点であり、市民の理解と協力の中で進めていくことが重要と考えています。</p> <p>市では別途計画の「摂津市文化振興計画」を策定しており、「伝統文化の保全と継承活動への支援」を主要施策として取り組んでいます。</p>
<p>③烏飼地域などは、工場地が数多く集積しているが、摂津市（又は烏飼地域）の都市・都市空間の特徴のひとつが多くの企業が立地していることであるとすると、どのように事業者と連携・協働を進めるかが、今後のまちづくり、都市づくりにあたって特に重要な事項になるのでは。</p>	<p>P50（まちづくりの手引）において、住工共存のまちづくりについての記載があるように、まちの特性ごとに取り組むべき事柄を行政、事業者、市民の役割に分けて記載しており、協働の進め方についても、P81（協働のまちづくり）より記載しています。</p>
<p>④吹田操車場跡地や正雀駅前のまちづくりなどは、吹田市との連携・調整を図りながら進めていく必要があり、近隣市との連携についても記載があっても良いのではないか。</p>	<p>都市計画マスタープランは、北部大阪全体のマスタープランである「北部大阪都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」を踏まえ、策定しています。</p> <p>吹田操車場跡地などの開発事業だけでなく、道路整備や防災面など様々な分野において、周辺自治体との連携は重要な事項と考えており、連携を図っています。当然ながら、今後も連携を図っていきます。</p>